

**株式会社京王ズホールディングス**  
**平成21年10月期(第17期)第2四半期**  
**決算説明資料**

H21.6.12

- 平成21年10月期/第2四半期連結業績サマリー P 3
- セグメント別第2四半期連結【売上高・営業利益】 P 4
- 第2四半期業績予想の修正について P 5

## 前期と比較した連結サマリー

	H20. 10月期第2四半期 第16期	H21. 10月期第2四半期 第17期	前年同期比 (%)
売上高	6,903	6,379	- 7.6%
営業利益	65	156	139.9%
経常利益	41	206	399.4%
四半期純利益	52	145	178.2%

(単位：百万円)

世界的な景気後退の波が日本を直撃しておりますが、当社では前期(第16期)より大幅なコスト削減を図り、その継続を行うことで安定した利益体質へチェンジしました。

又、取り扱い商材が不況に強いストックビジネス(移動体通信事業、テレマーケティング事業)であることも当社の強みです。

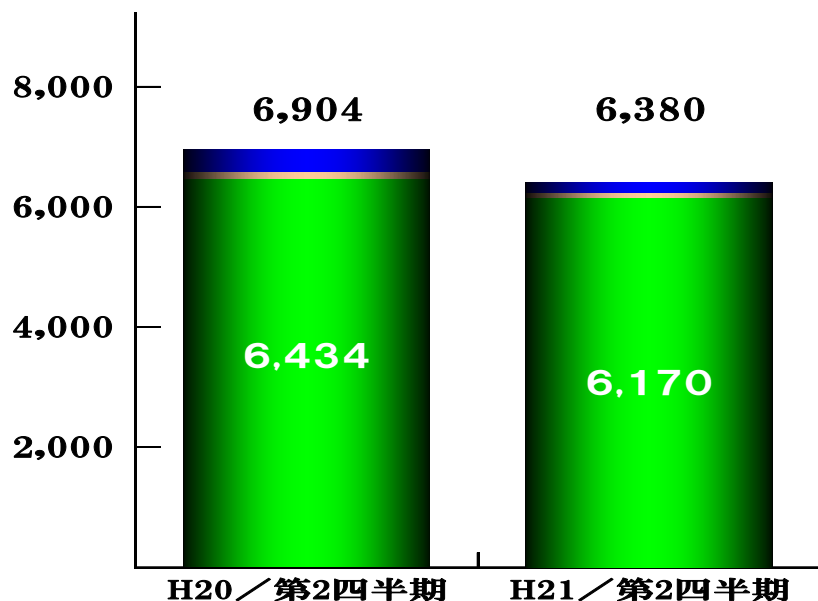
# ■ セグメント別第2四半期連結売上高・営業利益

※全社消去を除く

■ 移動体通信事業 
 ■ 不動産事業 
 ■ TM事業

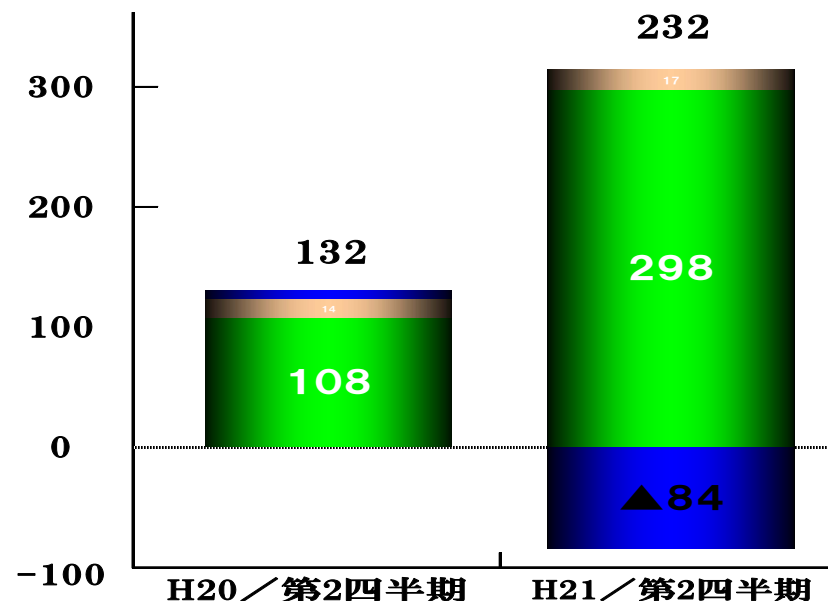
【売上高（累計）】

(百万円)



【営業利益（累計）】

(百万円)



### 【事業のセグメント別業績】

移動体通信事業、不動産事業については、前期(第16期)から引き続きのコスト削減などの効果により、営業利益(前年同期比)が 右グラフ【営業利益(累計)】の通りの伸びとなりました。

一方、テレマーケティング事業については営業損失84百万円(前年同期は8百万円の利益)となりました。これは、2拠点あるコールセンターを、西多賀(仙台市)コールセンターへ統合し、コスト効率のUPを図る為、その撤退及び移転コストを第2四半期において計上した事によるものです。

### 平成21年10月期第2四半期業績修正

	前回発表予想		今回発表予想		対前回発表比
売上	6,325	—	6,379	—	100.9%
営業利益	137	2.2%	156	2.4%	113.9%
経常利益	102	1.6%	206	3.2%	202.0%
当期純利益	86	1.4%	145	2.3%	168.6%

(単位:百万円)

※前回発表予想、今回発表予想のパーセンテージは売上高に対する構成比となります。

移動体事業部における移動体端末一台あたり利益率の向上や、継続的なコストの削減などにより、平成21年10月期第2四半期の業績修正を行います。